

キャリア・カフェ (第3回)

「医学系女性研究者に今、求められていること、必要なこと」

ゲストスピーカーに、免疫学の分野で大きな貢献をされている、京都大学生命科学研究科教授で女性研究者支援センター長の稲葉カヨ氏をお迎えします。

ゲストトークでは、研究者としてのキャリアや、日米の女性研究者をとりまく環境などについてお話いただけるほか、6月の日本免疫学会会長就任にまつわるエピソードなどをうかがえる予定です。

1. 日 時 6月28(土) 13時～15時30分
2. 場 所 神戸大学医学研究科 楠キャンパス 神緑会館
神戸市営地下鉄「大倉山」駅から約5分、JR「神戸」駅又は神戸高速鉄道「高速神戸」駅から約15分
3. プログラム PART I 13:00～14:00
ゲストトーク「日米にみる、女性医学研究者のこれまで、今、これから」
PART II 14:10～15:00
みんなでクロストーク
メンター相談タイム 15:00～15:30

キャリア・カフェ (第4回)

「乙姫たちの冒険～神戸は海事と科学のキャリアがかっこいい！」

午前の部は海事科学研究科准教授の林美鶴氏と、駒澤大学講師の坂野井和代氏の講演を行います。午後の部は、ゲストと一緒に神戸大学附属練習船深江丸に乗りこみ、船上でキャリアカフェを開催します。また、船長の指導の下で航行体験もできます。ゲストスピーカーの坂野井氏は、日本人女性初の南極越冬隊員です。

1. 日 時 7月5日(土) 10時30分～17時
2. 場 所 神戸大学海事科学研究科深江キャンパス 総合学術交流棟コンフェレンスホール
阪神「深江」駅から南西へ約10分、JR「甲南山手」駅から南西へ約20分
3. プログラム 午前の部 10:30～11:45
挨拶「日本で唯一港をもつ総合大学と、女性たちの可能性」太田博史副学長
講演 I 「海事科学ってなんだろう？」林美鶴海事科学研究科准教授
講演 II 「夫婦で！オーロラ研究」坂野井和代駒澤大学講師
午後の部 12:30～17:00 (午後の部参加者は保険代300円の負担が必要)
神戸大学附属練習船深江丸にて「船上キャリアカフェ」退船訓練、操舵体験、キャリアカフェなど

キャリア・カフェの連絡先 (変更などあれば前日4時までには連絡)

神戸大学男女共同参画推進室女性研究者支援「再チャレンジ! 女性研究者支援神戸スタイル」プロジェクトチーム内メンターラボ (担当: 桜井、西谷)

Tel&Fax: 078-803-5471 E-mail: pj-kobestyle@port.kobe-u.ac.jp

E S D 講演会

「福祉国家・環境先進国と呼ばれているデンマークという国」

1. 日 時 7月15日(火) 17時～18時30分
2. 場 所 発達科学部B202号室
3. 内 容 デンマークにおける環境を守る活動から、E S D先進国であるデンマークの取り組みを学ぶ。世界最高レベルの社会保障制度を整え、食料もエネルギーも自活、世界でもっとも民主主義が進んでいる国、デンマーク。「共生」の政策理念の基盤となる国の歴史と国民の姿を通して、年金・雇用・貧困・格差・「愛国心」・環境・エネルギー・食料など問題の山積する日本社会を見つめ直す。
4. 講 師 ケンジ・ステファン・スズキ
デンマーク在住の環境活動家。1944年岩手県東山町の生まれ。67年、青山学院大学を中退しデンマークに渡る。デンマーク日本大使館勤務などを経て、79年デンマーク国籍を取得。86年、ユトランド商業大学に入学し、税法・会計を学ぶ。卒業後、リサーチ会社「S. R. Aデンマーク社」を設立。デンマークの大手風力発電機メーカーと契約し、これまで日本に80基の風車を建設する業務に携わる。97年より日本人向けの研修施設「風のがっこう」を主催し、デンマークの優れた環境とエネルギー政策を伝えている。主な著書は、『デンマークという国自然エネルギー先進国「風のがっこう」からのレポート』（合同出版、2003年）、『なぜ、デンマーク人は幸福な国をつくることに成功したのかどうして、日本では人が大切にされるシステムをつくれぬのか』（合同出版、2008年）など5. その他 講演は、E S D現代G Pプロジェクトと生涯学習論の授業と合同で実施する。
5. その他 本講演会は、生涯学習論授業として実施します。
6. 連絡先 HCセンター 高尾

経済学部 Gomi-jp [ごみじゃぱん]

1. 日 時 7月11日(金)

①10時00分～12時 ②14時00分～16時 ③17時00分～19時

7月12日(土)

④10時00分～12時 ⑤14時00分～16時 ⑥17時00分～19時

2. 場 所 グルメシティ住吉(JR住吉駅)

3. 内 容 NPO Gomi-jpは、2008年「減装(へらそう)ショッピング」実験店舗来店者の「減装商品」の浸透(認知・理解)状況、や購買意識・行動の変化を各フェイズごとに測定し、当該実験の成果測定の指標のひとつとする調査を行う。調査にあたっては専門の調査会社が行うが、当該調査員の横で調査方法等を見学することで、マーケティングの実査に立会い、現実社会を体験する。

4. 集 合 各時間の30分前にJR住吉駅改札口(担当 小島さん)

6. 連絡先 Gomi-jp 事務局長小島理沙(経済学部ESDコース担当)

神戸大学内(経済)第2研究室207号

TEL078-803-3005 FAX078-803-3006

risa.kojima@people.kobe-u.ac.jp

当日の連絡先 080-6159-1454(小島さんの携帯)